

安藤 たかお

あんどう

衆議院議員候補
医師



命を守る
医師の視点
街づくり・人づくり・幸せづくり



私も応援
しています

自民党総裁 高市早苗

比例代表は自民党へ！

証 紙

練馬区の課題と、私・安藤たかおの取り組み

練馬区では高齢者が急増し、医療・介護の需要は確実に拡大します。一方で救急医療や在宅医療の体制は十分とは言えません。厚労大臣政務官として医療行政の最前線に立った経験を

高齢化に備え、
と健康を守る
命

物価や工賃ルギー価格の高騰で、家計や中小事業者医療・介護現場は厳しさを増しています。私は国政の立場から、物価高対策の継続賃上げにつながる経済環境づくり、地域事業者の経営安定に取り組んでまいりました。厚生労働大臣政務官として、年金を増額する取り組みに関わり、将来への安心を支える制度づくりを進めきました。また、給付税額控除の導入を進め、働く人を支え、格差の固定化を防ぐ公正な社会の実現を目指します。医療・介護建設・IT・農業など地元産業が活躍する「地産地消」の経済を広げ、練馬の活力を高めます。

物価高から、家計
と地域経済を守る



医療・介護・福祉
の現場を守る

人材不足と物価高で、医療・介護の現場は限界に近づいています。永年つちかつた医療・介

活かし、救急医療の強化
在宅医療と介護の充実、感染症や災害に強い医療体制を整え、「いざという時に安心できる練馬」を実現します。あわせて、増え続ける認知症への不安に向き合い、早期発見・早期支援の体制整備、家族への負担軽減地域で支える仕組みづくりを進め、誰もが安心して暮らせる環境をつくります。医療的ケア児への支援も拡充します。

また、練馬の暮らしをより便利で豊かにするため、都市農業の推進、都営大江戸線の延伸、西武池袋線・新宿線の高架化を着実に進めます。都市農業では、貴重な農地を守りながら、防災・教育・地域交流にも活かせる仕組みを整え、練馬らしい魅力と安心を未来につなぎます。交通面では、大江戸線の延伸により移動の選択肢を広げ、通勤・通学・通院の利便性を高めるとともに、西武線の高架化で踏切渋滞や事故リスクを減らし、街の分断を解消して、

が、私たちの暮らしを支えています。日米同盟を基軸に、現実的な外交・安全保障を進めます。首都直下地震に備え、本格的造密集地域対策、無電柱化によるシヨン防災、福祉避難所の整備を進め、被害を最小限に抑えます。

外交・安全保障、災害対策で命を守る

安藤たかお プロフィール

昭和34(1959)年東京都生まれ。日本大学医学部卒業。医師として医療法人理事長や医療・介護団体での活動を経て、平成29(2017)年10月第48回衆議院議員総選挙(比例代表東京ブロック)で初当選。令和3年自民党政調会長特別補佐、令和6年厚生労働大臣政務官に任命される。

私たちも応援しています。練馬区長・前川燿男、東京都議会議員・柴崎幹男、練馬区議会議員・小林みつぐ、小泉純二、藤井たかし、かしわざき強、福沢剛、上野ひろみ、田中よしゆき、かわすみ雅彦、かしままさお、しばたさちこ、高橋しんご、佐藤力、つじ誠心、笠原ともこ、近田ゆきひろ、自民党練馬総支部幹事長・間口和雄、前東京都議会議員・やまかあけみ

衆議院議員
安藤たかお

現場を知る政治で、
命と暮らしを守る。
練馬の安心と未来のため
に、全力で取り組みます。

練馬の暮らしを守る。 東京

私も応援しています

